

## 平成 16 年度 第 4 回市民活動サポートセンター運営委員会 会議録

平成 17 年 1 月 20 日 18:30～19:40  
市民活動サポートセンター

出席委員 12 名……柴崎、多田、新井、石塚、伊藤、江口、佐藤、四分一、田中、細川、松澤、横山  
事務局 4 名……YMC A よこすかコミュニティサポート 高村、渡辺  
市民生活課 小座野、小番

### 1 報告事項

次第に沿って報告を行った。

### 2 審議事項

- (1) 市民公益活動団体について、提案どおり承認した。
- (2) 運営委員の改選について、提案どおり承認した。

### [意見概要]

### 議事録について

#### (柴崎委員)

議事録のホームページへの掲載はいつごろ行っているのか。

#### (事務局)

部内の決裁手続きを終えてからになるので、運営委員会の開催から 1 カ月以内をめどに行っている。

### 利用者の声について

#### (事務局)

10 月分にある i m i d a s u の要望は最新版を購入済み、キッズルームのビデオは修理済みである。12 月分にあるラジオの館内放送については、いろいろな意見があるかと思うが、地域情報や災害情報を得るうえでも放送をかけている。

#### (多田委員)

ラジオのそばに情報収集中であるという表示を出しておいてはどうか。

### のたろんフェア 2005 進ちょく状況について

#### (四分一委員)

実行委員長として、市民活動サポートセンターの利用層やのたろんフェアに参加する団体のジャンルがふえていると感じている。今回は団体交流会を企画しており、参加団体の交流を深めたい。また、サポートセンター館内と館外にブースがわかれているが、映像による中継を行って一体感を高めたい。

#### (事務局)

資料 4 のとおり準備を進めている。現在の参加団体総数は 65 団体である。ステージを館外に設置するにあたっては、スタッフとボランティアで安全管理を行っていく。参加団体のブースについては、1 月 14 日（金）の参加団体説明会で抽選を行い、配置場所を決定した。なお、運営ボランティア募集と不用品募集を現在も引き続き行っている。スタンプラリーの景品が少なく、運営ボランティアも多数必要としているので、運営委員の方にも呼びかけと協力をお願いしたい。

(細川委員)

ステージを使って館外と館内の様子を双方向で中継するので、市民活動ミニ体験の様子を外の人たちにもアピールでき、市民活動に関心を持ってもらえると思う。

(柴崎委員)

去年と比べて参加状況はどうか。

(事務局)

企業の参加が去年に比べて少ないことと、ステージ参加・市民活動ミニ体験参加だけの団体が減り、参加団体総数は少し減った。

(江口委員)

参加団体説明会に出たが、パワーポイントを使ってわかりやすい説明だった。ただ、「例年どおり」ということばで説明が省略されていたのが残念。「例年どおりなになにです」という説明のほうがよいと思う。初めてきた人もわかるように丁寧に説明するともっとよかった。

## 春の市民活動体験の進ちょく状況について

(事務局)

参加団体の募集を1月31日締め切りで呼びかけているが、申し込み状況は今日現在で6団体ある。春休み期間に企画をあわせているので、3月にイベントがある団体にはぜひ参加をよびかけてほしい。

(多田委員)

リポーターの取材がないようだが、報告はどういう形をとるのか。

(事務局)

参加団体が提出する報告書をまとめ、閲覧できるようにする。

## 市民協働推進フォーラムについて

(事務局)

資料5のとおり開催した。全体として参加者同士の交流の場を提供し、行政と市民が共にまちづくりを行う市民協働へのきっかけづくりや関心・意欲を高める機会になったと思う。

## 指定管理者制度移行に伴う業務の委譲について

(事務局)

平成16年11月1日に、市と市民活動サポートセンター指定管理者であるNPO法人YMCAよこすかコミュニティサポートが指定管理に関する協定を締結した。詳細については協定書のなかで別に定めているが、情報広場などの情報誌の発行やホームページの管理、利用団体交流事業の実施、サポートセンター施設の使用許可及び取り消しなど、従来は市の確認を経てから行っていたものが、今後は指定管理者の権限と責任で行われるようになる。

(佐藤委員)

管理業務の範囲に情報の収集及び提供とあるが、どういうものがあるのか。団体から情報の発信を依頼されたとき、無条件にうけるのか。

(事務局)

基本的に情報広場はイベント情報、情報誌のたろんは市民公益活動に役立つ情報を編集発行している。市民活動団体の情報なら全てよいということではなく、これまでの編集方針にそって情報を編集、

発行していく。大幅な変更を行う場合は運営委員会にはかりながら進めていく。

## 市民公益活動団体について

### (細川委員)

レターケースの利用団体で中身をとりに来ていない団体や、いまだにレターケースの申請書を出していない団体がある。1年以上申請書を出していない団体は利用を取り消してもよいのではないかと。

### (横山委員)

年度更新をしていない団体については、ある時期まで預かるにしても、連絡をつけて処分しないとイケないのではないかと。

### (事務局)

現在、申請書が未提出の団体は13団体くらいある。連絡をつけても手続きにこなかったりする。今度の年度更新のときに確認して、申請書の提出がない団体や連絡が取れない団体は、利用を取り消していきたい。

### (新井委員)

553番の「ぬくもり支援パラソル」の活動内容がよくわからない。本当に365日24時間対応できるのか。

### (事務局)

介護活動を目的とした団体で、活動内容については落丁があったため、ホームページ上の活動紹介で正しい内容を表示する。団体の活動内容や公益性の認定については、登録段階では団体の申請内容で判断することしかできない。登録後の各団体の活動状況を見て、問題があるようであれば提起していきたい。

## 運営委員の改選について

### (事務局)

資料8に示した案で運営委員の公募、改選を行いたい。

### (柴崎委員)

現在4年目の委員は再応募でき、任期のMAXは6年間ということによいか。

### (事務局)

そのとおりである。

## その他

### (事務局)

2月以降に来年度のロッカー・レターケースの募集を行う。レターケースについては現在のところ余裕があるが、ロッカーの希望団体数がオーバーした場合は、公益団体を優先して抽選としたい。12月の利用者の少ない時期にあわせて、パソコンルームの改修を行った。床下配線にしてバリアフリー化したほか、プロジェクタやスクリーン、LANケーブルを購入し、講師が受講者とむきあって講座を行えるようにした。改修にかかった費用はパソコン講座の収益から支出し、作業はサポートセンタースタッフがこなした。

### (柴崎委員)

ロッカー募集について希望団体数が定数をオーバーした場合、利用ができなくなる団体もあるとい

うことか。

(事務局)

可能性としてはある。これまでは趣味の団体が落ちることがあった。

(多田委員)

パソコンルームは非常に明るくて使いやすくなったと思う。

(松澤委員)

先日、ワーキングコーナーを利用したときに、ノートパソコンと資料を広げてワーキングテーブルを使用している人がいて作業がしづらかった。ノートパソコンはどのスペースでも使ってよいのか。

(事務局)

基本的にはフレキシブルコーナーか交流サロンで使用してもらうが、混んでいる場合はワーキングコーナーでの利用も可としている。スペースはお互いにゆずりあって使ってもらうようにしているが、利用者同士で言いくければ受付まで申し出てほしい。

(江口委員)

利用者の中で声が大きくなる場合があるが、みなさんはどう対応しているか。

(新井委員)

ほかの利用者もいるので静かにしてほしいなど、声をかけあっている。

(伊藤委員)

気がついたときは声をかけ、自分が注意されたときは素直に聞くようにし、お互いに気持ちよく利用していきたい。

以上